

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズ中野ルーム		
○保護者評価実施期間	2024年8月26日		2024年9月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年12月23日		2025年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	毎回スモールステップで目標が固定化されないように工夫し、個別支援計画とお子さまの「興味関心」「強み」に合わせて、お子さまが「やってみたい」と思える活動を取り入れている。	本年度研修拠点認定されたことも踏まえて、社内SV活用をはじめとした外部の視点も有効活用することで、活動プログラムの質の向上を図る。
2	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	利用者のニーズに基づき、関係機関連携（幼稚園・保育園・こども園等への訪問）を実施している。	セルフプラン利用児童については、併用他事業所との連携を、事業所間連携会議を通じて実施していく。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	日々の療育後に必ず振り返りを実施している。集団療育の場合は一斉フィードバックとなっているが、本年度から面談頻度4か月から2か月に改めている。	日々保護者と話す内容について、書類共有になっていることが多いため、朝礼等で共有するなど全職員で共通認識を持てるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	安全計画は本年度作成し、利用者への周知を広報で行っているものの、利用者・保護者を含めた訓練を実施できていない。その点について、利用者アンケートからも指摘を受けている。	近隣避難所への保護者参加型の避難訓練等を実施する。
2	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	アクシデント報告を行っているものの、比してヒヤリハット報告数が少ない。原因としては工数と優先度が考えられている。	ヒヤリハット報告を行う心理的負荷を抑えるために、入力フォーマットの改善を行う。
3	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	現在就学支援シートなどの引継ぎを希望に応じて作成しているものの、学校に何うなどして直接移行先と児童共有をする機会を設けられていない。	今後、保育・教育等移行支援加算または関係機関連携加算の枠組みにおいて、希望する利用者には就学前面談に同席するなどの提案を行っていく。